

報道機関各位

岩手町立川口中学校における復興教育との連携について ～総合政策学部伊藤英之教授及び学生の協力により「避難体験」を実施します～

岩手町立川口中学校の復興教育の取り組みについて、昨年度より、本学総合政策学部 伊藤英之教授及び学生が土砂災害に関する防災教育実施等により連携・協力を行っているところですが、この度、下記のとおり、3年生を対象にハンディキャップをお持ちの方を想定した避難体験を行うこととなりました。本取り組みについてのご取材について、よろしくお願ひします。

記

1 岩手町立川口中学校の取り組み

岩手町立川口中学校（村上淳哉校長）では、校訓「覇気」を掲げ、文武両道を目指し教師・生徒とも日々努力をしている。

昨年度、復興教育推進校の指定を受け「いわての復興教育」プログラムに基づき、プログラムが示す「3つの教育的価値」と「具体の21項目」との関連を整理しながら復興教育を推進。「ひとつづくり」の理念を同校の実態に応じて実現させることを、大きな目的としている。

同校では、復興教育をキャリア教育と関連させながら推進。学習を進める上での切り口を「夢や希望」、「地域とのつながり」、「地域づくり」の3項目で構成。具体的な活動としては、1年生を対象とした「災害を知る」学習、2年生を対象とした「地域を理解する」学習、3年生を対象とした「地域を守る」学習を計画。今回は、ハンディキャップ避難体験を通して地域コミュニティとの結び付きを強める活動に重点を置いて、「ひとつづくり」を推進している。

2 避難体験について

総合政策学部伊藤英之教授及び学生の協力により以下のとおり実施します。

- (1) 日 時：平成 26 年 6 月 25 日（水）13：20 ～16：00
- (2) 場 所：岩手町立川口中学校（岩手郡岩手町大字川口第 17 地割 24-13）
- (3) 内 容：中学 3 年生を対象とした避難時要援護者体験と地域の防災マップ作り

<本件の問い合わせ先> 岩手県立大学 総合政策学部 教授 伊藤英之 電話 019-694-2722